

平成26年度 桂東小学校経営方針

1 基本的理念

一人一人の子どもを徹底的に大切にする

これからの社会を生きる子どもたちは、自ら課題を発見し解決する力、コミュニケーション能力、物事を多様な観点から考察する力、様々な情報を取捨選択できる力などが求められると考えられます。このような社会の構造的な変化の中、次代を担う子どもたちの「生きる力」をはぐくむことは、より一層重要となっています。

教職員は、全教職員が一致協力して「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」という姿勢を堅持し、子どもたち一人一人の人権を徹底的に大切にし、子ども自らが自己の可能性を最大限に伸ばすことができるよう確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を図る教育を推進します。

小学校は、変化や新たな価値を主導・創造し、社会の各分野を牽引していく人材を育む基礎を担い、「社会が人を育み、人が社会をつくる好循環」を生み出すことに寄与したいと考えます。

2 学校教育目標

自他を認め、思いやりのある心豊かな子どもの育成

～望ましい学校生活を創造しようとする子の育成～

すべての教育活動を通し、人としての基礎基本、学力の基礎基本の確実な定着を図り【自立】、子ども一人一人が自尊感情を高めるとともに、お互いを尊重し認め支え合い共に生きる力を身につかせます【協働】。また、子どもが望ましい集団作りに主体的に関わることを通して、将来の地域社会を担う人材の基礎を育みます【創造】。(キーワードは教育振興基本計画より)

- ・子どもの個性と可能性を引き出し、自ら考え学ぶことのできる確かな学力を身につかせます。
- ・自分の大切さと共に他の人の大切さを認め、お互いが学び合い高め合う関係を作ります。
- ・社会性を身に付けることはもちろん、望ましい社会を創造する力（社会力）を育みます。

3 めざす子ども像

伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り開く子ども

○人・物・時間を大切にする子

- ・あいさつ・返事のできる子
- ・人の話をしっかり聞ける子
- ・物を大切にし、片付けのできる子
- ・掃除がしっかりできる子
- ・時間を守れる子

○めあてをもってやり抜く子

- ・めあてや目標をもち、進んで学ぶ子
- ・自分の役割をきちんとできる子
- ・生き物や自然に親しむ子

○真剣に取り組み力を合わせる子

- ・一生懸命取り組む子
- ・人と協力できる子
- ・失敗を恐れず挑戦し、失敗から学べる子

4 めざす教職員像

確かなビジョンと力量を持つ教職員

- 愛情をもってかかわる教職員
- 研鑽を重ね互いに切磋琢磨する教職員
- 連携・協働できる教職員

5 めざす学校像

市民ぐるみ地域ぐるみの教育の核となる学校

- 一人一人の子どもを徹底的に大切に作る学校
- 子どもに「学力」と「生きる力」をつける学校
- 保護者・地域・関係機関と連携・協働する学校

6 学校教育目標の具現化に向けて

のびのび きびきび にこにこ 覇気のある楽しい学校

- ・ 知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成を図ります。
- ・ 一人一人の子どもを徹底的に大切にしたい教育活動を展開します。

人権尊重の精神

- ◎ 子どもの人権を徹底的に尊重します。
- ◎ 子どもの人権意識を高め、その良さを引き出し伸ばさせます。

一人一人の児童が発達段階に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解し、【自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること】ができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるとともに人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようにします。

個を大切にしたいよりよい集団の育成

- ・ 「めざす子ども像」について、学年の発達段階に応じた具体的な行動目標を決めて取り組みます。
- ・ 子どもの立場に立った児童理解を深め、愛情のある共感的なかわりをもって、子どもの個性を伸ばし、個を大切にしたい学級づくりと潤いのある集団を育てます。
- ・ 集団の中で個性を伸ばし、成就感を味わせる特別活動の充実を図ります。

▼ 確かな学力を培う学習指導

【基礎・基本の徹底】

- ◎各学年で指導すべき基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、すべての子どもに学習基盤の定着を図ります。
- 学力向上プランの進捗を検証しつつ、京都市学習支援プログラムを活用・分析をし、児童の学力実態を把握します。学習計画の明確化・学習活動の工夫を図り、継続した指導を推進します。
- ◎学習への興味・関心・意欲を高め、言語活動を重視した学習活動を展開するなかで、思考力・判断力・表現力などを含めた「確かな学力」を身につけさせます。
- 自ら考え判断し表現できる力を育成します。
- 外国語活動の充実を図り、コミュニケーション能力の基礎を育成します。

【子ども一人一人の学力を伸ばす指導の充実】

- 評価を充実することによる継続的な取組の改善・指導方法や指導体制の工夫改善を図ります。
- すべての子どもの教育的ニーズに応じた支援を前提として「個に応じた指導」を推進します。
- LD 等教育支援を必要とする子どもに対する指導内容・方法・体制を工夫した取組の具体化を図ります。
- ◎学習するためのルールを一人一人の子どもが確実に身につける学習規律の徹底を図ります。

【問題解決的な学習や探究活動の充実】

- ◎学ぶ意欲と学びの力を高めるため、学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動や、学習した内容をさらに深化させる探究活動を充実します。
- 読解力や書く力を培うカリキュラムの開発、手立てとなる取組の具体化を図ります。
- 主体的、協同的に問題を解決する学習を重視します。

【あい学習（総合的な学習の時間）の充実】

- 各学年の「目標」や「内容」を含めた全体計画を作成し、あい学習の取組の充実を図ります。
- ◎あい学習と教科等との有機的な関連を図り、児童の実態を生かした内容の精選に努めます。

【情報活用能力の育成】

- 児童の情報活用能力の育成を図ります。
- 電子黒板・ICT を積極的に学習指導に取り入れ、授業改善を図ります。
- 校内LANの活用を通して、教育情報の共有化を図ります。
- ◎携帯電話・インターネットへの依存性・危険性等情報モラル指導に取り組みます。

【理数教育】

- 自然に親しむ活動や観察を通し疑問の解明に主体的に取り組む姿勢を育てます。
- ◎身近な自然や生活の中の様々な事象に子どもが目を向け、科学的に考察する機会を拡充するとともに、科学への探求心や好奇心を喚起する学習活動や体験活動を充実します。

【総合育成支援教育】

- 指導の目標や内容を明確に、家庭との連携を図ります。
- ◎課題を明確化し全教職員の共通認識のもと「個別の指導計画」を作成し指導の充実を図ります。
- 必要な支援を柔軟に行なう全校的な指導体制の充実を図ります。

【生き方探求教育（キャリア教育）】

- 学校におけるすべての教育活動において、子どもの発達段階や個人差を踏まえながら、勤労観・職業観を養い、自立した社会人として生きていくために必要な意欲・態度や能力を育てるキャリア教育を推進します。

▼ 豊かな心と健やかな体の教育

【道徳教育の推進】

- お互いの生き方や価値観の違いを認め合い、相手を尊重する気持ちを培います。
- グリーンスクールや読書・長期宿泊自然体験活動の充実を図り、共に生きるために大切な公共心・公德心・生命を尊重する心・感謝する心を育てます。
- ◎各教科・教育活動との連携を図った全体計画・年間指導計画を立て道徳教育の充実を図ります。
- 子どもの心に響き、自ら考え、発言することを大切にした指導方法の工夫・改善を図ります。

【生徒指導の充実】

- 規範意識の醸成とすべての子どもが安心して学べる環境づくりを進めます。
- ◎いじめを許さない集団づくりを推進します。
- 児童育成委員会の機能を高め、校内体制の整備を図ります。
- 子どもたちが学校や家庭で「心の居場所」を見いだせる取組を推進します。
- 「児童虐待」や「不登校傾向の児童」をはじめあらゆる問題の早期発見・早期対応に努め、関係諸機関と連携した支援など、総合的な取組を推進し積極的な問題解決に努めます。
- 個々の指導を曖昧にすることなく、一人一人を支援するため、家庭、地域、関係諸機関との連携を密にします。

【人権教育】

- 子ども一人一人が自尊感情を高めます。
- お互いを尊重し、認め支え合い、共に生きる子どもの育成を図ります。
 - ・男女平等教育・・・男女を問わず等しく個性ある人間として尊重し、能力を発揮できる資質や能力の基礎を培います。
 - ・総合育成支援教育・・・障害についての理解と認識を深め、障害のあるなしにかかわらず、互いに尊重し共に成長しあう基礎を培います。
 - ・同和教育・・・人権尊重を基盤とした同和问题認識を深め、解決に向けて主体的に行動できる実践的態度と能力を培います。
 - ・外国人教育・・・民族的差別の解消をめざすとともに、民族や国籍の違いや文化・伝統の多様性を認め、共に生きる国際協調の精神を培います。

【伝統文化・国際理解教育】

- 京都ならではの伝統文化体験活動の具体化を図ります。
- 国際理解教育の推進を図ります。

【環境教育】

- KES 学校版「環境にやさしい学校」の積極的推進を図ります。
- ◎環境委員会の活動を中心に、全校でリサイクルに取り組みます。

【健康教育と地域ぐるみの安全教育】

- 早寝・早起き・朝食摂取の生活習慣の定着を図ります。
- ◎学校安全活動を活性化し、保健・給食・体育・安全の各分野の連携した取組を推進します。
- 学校の危機管理体制を確立し、「地域ぐるみの防犯・安全」の推進を図ります。
- 交通事故をはじめとするあらゆる事故・災害を未然に防ぐ能力を育成します。
- 運動の楽しさや喜びを味わう体育学習・部活動の充実を図り、体力を高めます。
- 全市に先駆けた全校地内禁煙の取組に学び、地域との健康教育推進の協調体制を確立します。

【防災教育・防災管理の充実】

- ◎自然災害に関する知識を身につけさせ、危険に際して自らの命を守り抜くため主体的に行動する態度を育成します。